

- 問1 西アジアのアラブ首長国連邦における産業と人口の関係について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 豊富な石油資金を背景に自国民の人口が急増したことで、食料自給率を高めるための農村開発が都市開発よりも優先されている。
 2. 将来の石油資源の枯渇を見据えて観光や金融などの産業多角化を進めており、その開発や運営の多くを外国人労働者が担っている。
 3. 石油に依存しない経済を目指して伝統的な真珠採掘を再興させたため、沿岸部の都市開発は近年抑制されている。
 4. 自国民の雇用を最優先するため、高層ビルの建設現場などの肉體労働に従事する外国人の入国を厳しく制限している。
- 問2 南アジアに位置するインドにおいて、国民の約8割という最も多くの人々に信仰され、人々の生活や文化、さらには社会制度の歴史に深く根付いている宗教は何か。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 仏教
 2. イスラム教
 3. ヒンドゥー教
 4. キリスト教
- 問3 南アジアに位置するインドにおいて、1990年代の経済の自由化以降、情報通信技術（ICT）関連の産業が急速に発展した中心都市はどこですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. コルカタ
 2. ムンバイ
 3. ニューデリー
 4. バンガロール
- 問4 現代のインドにおいて、英語が広く普及していることが経済発展に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
1. 英語が堪能な人材が多いため、アメリカなどの企業からソフトウェア開発などのIT業務を受託しやすくなった。
 2. 英語を話す観光客を呼び込むために、農村部のすべての農作業が英語で行われるようになった。
 3. 英語以外の伝統的な言語がすべて廃止されたため、国内の民族対立が完全に解消された。
 4. 国内のすべての教科書を英語に統一したことで、識字率が短期間で100%に達した。
- 問5 世界の諸地域の土地利用について述べた次の文のうち、インドの大きな特徴として正しいものはどれですか。主要な国々の土地利用を比較した統計において、インドは農地面積約1億7960万ヘクタールのうち、その大部分である約1億6936万ヘクタールを特定の用途が占めており、これは他国と比較しても際立って高い割合となっています。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 森林としての利用
 2. 牧草地・放牧地としての利用
 3. 耕地・樹園地としての利用
 4. 砂漠や氷雪地などの非農耕地
- 問6 年平均気温が約26℃と年中高温で特に夏の降水量が多く、平均標高が約85mと国土に平地が多い特徴をもつアジアの国において、盛んに行われている農業の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
1. 標高が高い山岳地帯の冷涼な気候を生かして、じゃがいもが盛んに栽培されている。
 2. 乾燥した広大なステップ気候を生かして、小麦の栽培と羊の放牧が行われている。
 3. 平地が多く高温多雨な気候環境を生かして、米が盛んに生産されている。
 4. 年間を通して降水量が少ない乾燥した気候を生かして、なつめやしの栽培が行われている。
- 問7 中国の沿岸部に経済特区が設置され、工業化が急速に進んだ結果、中国国内で生じた人口の動きや社会の変化として、最も適切な説明はどれか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 沿岸部と内陸部の経済格差が解消されたため、地域間の人口移動はほとんど見られなくなった。
 2. 内陸部の農業を振興するため、沿岸部の都市居住者を内陸部へ移住させる政策が優先された。
 3. 外国企業の進出により沿岸部の環境が悪化したため、富裕層を中心に内陸部への移住が進んだ。
 4. 賃金の高い仕事を求めて、内陸部の農村から沿岸部の工業都市への大規模な人口移動が起きた。
- 問8 インド半島の中央部には広大な高原が位置しており、そこに含まれる肥沃な土壌は水分を保つ性質があるため、特定の作物の栽培に適しています。この地形の名称とその場所で盛んな作物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. チベット高原 — 茶
 2. エチオピア高原 — 小麦
 3. デカン高原 — 綿花
 4. ブラジル高原 — コーヒー
- 問9 中国を含むアジアの国々で、米の生産量が他の地域に比べて圧倒的に多い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 季節風（モンスーン）の影響により、夏の成長期に高温多湿な気候となるから
 2. 大規模な機械化に適した広大な乾燥地帯が広がり、地下水による灌漑が容易だから
 3. 冷涼な気候を好み、少ない水分でも育つため、高緯度地域の広大な平原での栽培に適しているから
 4. 人口密度が低く、広大な土地を利用して少人数で効率よく生産できる体制が整っているから
- 問10 南アジアに位置するインドでは、近年、ソフトウェア開発などの産業が急速に発展しています。この産業が成長した背景として、教育面や歴史的な特徴から説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 安価な労働力を確保するため、農村部から都市部への人口移動を政府が強制したこと
 2. 豊富な鉄鉱石と石炭の資源を背景に、鉄鋼業などの重化学工業が輸出の柱となったこと
 3. 公用語の一つである英語が堪能な人材が多く、高度な数学教育が行われていること
 4. サンベルトと呼ばれる地域を中心に、政府が最先端の宇宙開発事業を推進したこと
- 問11 インドの都市コルカタで見られる雨温図のデータの特徴について、適切に説明しているものはどれですか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. 夏にあたる時期に降水量が著しく減少し、乾燥する気候である。
 2. 年間を通じて平均気温が非常に低く、降雪が多い。
 3. 年間を通じて気温が高く、6月から9月頃にかけて降水量が集中する雨季がある。
 4. 年間を通じて降水量が非常に少なく、気温の年変化もほとんどない。
- 問12 中国の人口構成と民族に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 清を建国した満州族が、現在の中国において最も人口が多い民族である。
 2. 漢族は主に内陸部の山岳地帯に住する、人口の少ない民族である。
 3. 中国は単一民族国家であり、漢族以外の民族は居住していない。
 4. 人口の約9割を占める漢族のほかに、55の少数民族が暮らしている。
- 問13 南アジアに位置するある国について、2000年から2019年にかけての一人あたりの国民総所得（GNI）が著しく上昇している統計資料があります。また、2019年時点の主要な輸出品目として、石油製品や機械類とともにダイヤモンドが上位を占めているこの国はどこですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. チリ
 2. イギリス
 3. 南アフリカ共和国
 4. インド
- 問14 日本の輸入取引に関する統計資料において、2008年時点で魚介類および野菜・果実の輸入額がそれぞれ国内第1位であり、さらに2010年時点のアルミニウムの輸入額でも第3位となっている国はどこか、次の中から選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 中国
 2. フィリピン
 3. アメリカ合衆国
 4. オーストラリア